

慣用句の基本をマスター！
読み・書き・意味④

名前

26問

問題 一

(一) 次の慣用句の——部分の読みがなを()に
ひらがなで書きましょう。

- ① 相槌を打つ ()
- ② 袂を分かつ ()
- ③ 埒が明かない ()
- ④ 鼯の最後っ屁 ()
- ⑤ 阿吽の呼吸 ()
- ⑥ 蚊帳の外 ()
- ⑦ 烙印を押す ()
- ⑧ 高嶺の花 ()
- ⑨ 地団駄を踏む ()
- ⑩ 閑古鳥が鳴く ()

(二) 次の慣用句のカタカナ部分を()に漢字で書きましょう。

- ① ポケツを掘る 答え ()
自分で自分の立場を悪くするようなことをすること。
- ② ニシキを飾る 答え ()
成功して故郷に帰ること。立派な姿で帰郷すること。
- ③ 一枚かむ 答え ()
ある計画や事業などに、仲間として参加したり関わったりすること。
- ④ クチウラを合わせる 答え ()
前もって相談して、話の内容を一致させておくこと。
- ⑤ スイホウに帰す 答え ()
それまでの努力や苦心が、すべて無駄になってしまうこと。

問題 二

(一) 次の慣用句の意味として正しいものを、ア〜ウから選び、○をつけましょう。

- ① 同じ釜の飯を食う
ア みんなで同じメニューを食べること。
イ 大きな釜でご飯を炊くこと。
ウ 一緒に生活したり苦勞を共にしたりして親しくなること。
- ② お茶を濁す
ア お茶に何かを入れて濁らせること。
イ はっきり言わず、あいまいにごまかすこと。
ウ お茶を飲んで休憩すること。
- ③ 下駄を預ける
ア 下駄を修理に出すこと。
イ 物事の処理や決定を他人に任せること。
ウ 玄関に下駄を並べること。
- ④ 恩に着せる
ア 感謝の気持ちを込めて服をプレゼントすること。
イ 恩人に会いに立派な着物を着ていくこと。
ウ 人にした親切を言い立てて感謝を強要すること。
- ⑤ 猿知恵
ア 浅はかで一時しのぎにしかない知恵。
イ 動物園で猿が芸をすること。
ウ 猿がとても賢いこと。

(二) 次の意味に合う慣用句を、ア〜ウから選び、○をつけましょう。

- ① 自分の失敗の後始末をすること。
ア 油を売る イ 尻拭いをする ウ 手を広げる
- ② 機会を狙って、準備を整えながら待つこと。
ア ニの句が継げない イ 手を打つ ウ 爪を研ぐ
- ③ 成功して故郷に帰ること。
ア 錦を飾る イ 糖喜び ウ 橋渡しをする
- ④ 対立している二者の間に入って、仲立ちをすること。
ア 墓穴を掘る イ 幕を引く ウ 橋渡しをする
- ⑤ こらえていたものが、一度にあふれ出す様子。
ア 堰を切ったように イ 水の泡になる ウ そりが合わない

いくつわかるかな？



問題 三

次【一】の慣用句を使って、短い文を作りましょう。【太刀打ちできない】 相手が強すぎて、全く対抗できないこと。